

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部

第 8 6 回 本 部 会 議

日時：令和3年11月30日（火）15：00～

場所：本庁3階テレビ会議室等

1 開 会

2 議 事

- ・ 「年末年始における感染拡大防止に向けて」について（協議事項）
- ・ その他

3 閉 会

資料1	道内の感染状況等について（案）
資料2	札幌市の感染状況について
資料3	「年末年始における感染拡大防止に向けて（案）」
資料4	「年末年始における感染拡大防止に向けて（道案）」に対する 主な意見
資料5	宗谷総合振興局の取組
資料6	釧路総合振興局の取組

道内の感染状況等について (案)

【令和3年11月30日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (11/29)	1.5 人/週 (79人/週) ↓	35.4% ↑	0.7% ↓	2.9% (57床) ↓	—	1.5% (2床) →	3.0人 (157人) ↓
道ステージ2基準 (国ステージII)	2人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	増加	増加	—	増加	増加

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

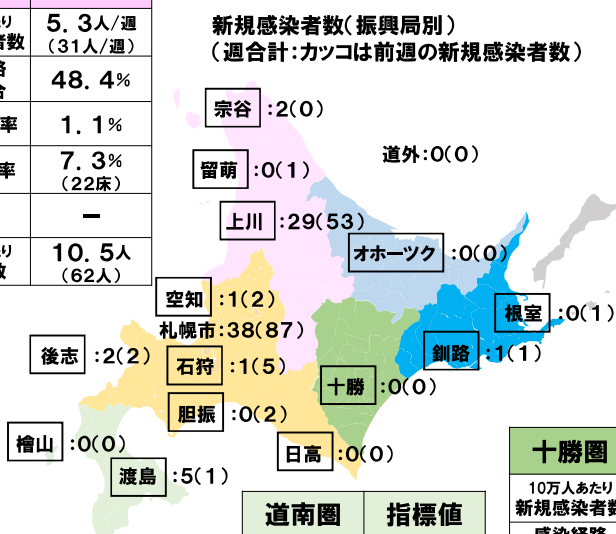
地域における主な指標の状況

【11/29現在】

札幌市	指標値
10万人あたり新規感染者数	1.9人/週 (38人/週)
感染経路不明割合	21.1%
PCR陽性率	0.7%
病床利用率	4.0% (23床)
入院率	—
重症者用病床利用率	2.1%
10万人あたり療養者数	4.0人 (78人)

道央圏 (札幌市除く)	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.3人/週 (4人/週)
感染経路不明割合	75.0%
PCR陽性率	0.2%
病床利用率	0.9% (4床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.6人 (8人)

道北圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	5.3人/週 (31人/週)
感染経路不明割合	48.4%
PCR陽性率	1.1%
病床利用率	7.3% (22床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	10.5人 (62人)



道南圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	1.2人/週 (5人/週)
感染経路不明割合	20.0%
PCR陽性率	1.7%
病床利用率	3.0% (6床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	1.4人 (6人)

十勝圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床利用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

オホーツク圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床利用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

釧路・根室圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.3人/週 (1人/週)
感染経路不明割合	100%
PCR陽性率	0.6%
病床利用率	1.0% (2床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	1.0人 (3人)

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 2

総評

【感染状況】

○ 全道の新規感染者数は、6日連続で先週比が減少。札幌市及び旭川市の感染者数が全道の数を押し上げている状況が継続(全道の8割超)。

【医療提供体制】

○ 療養者数、入院患者数については、横ばいで推移。

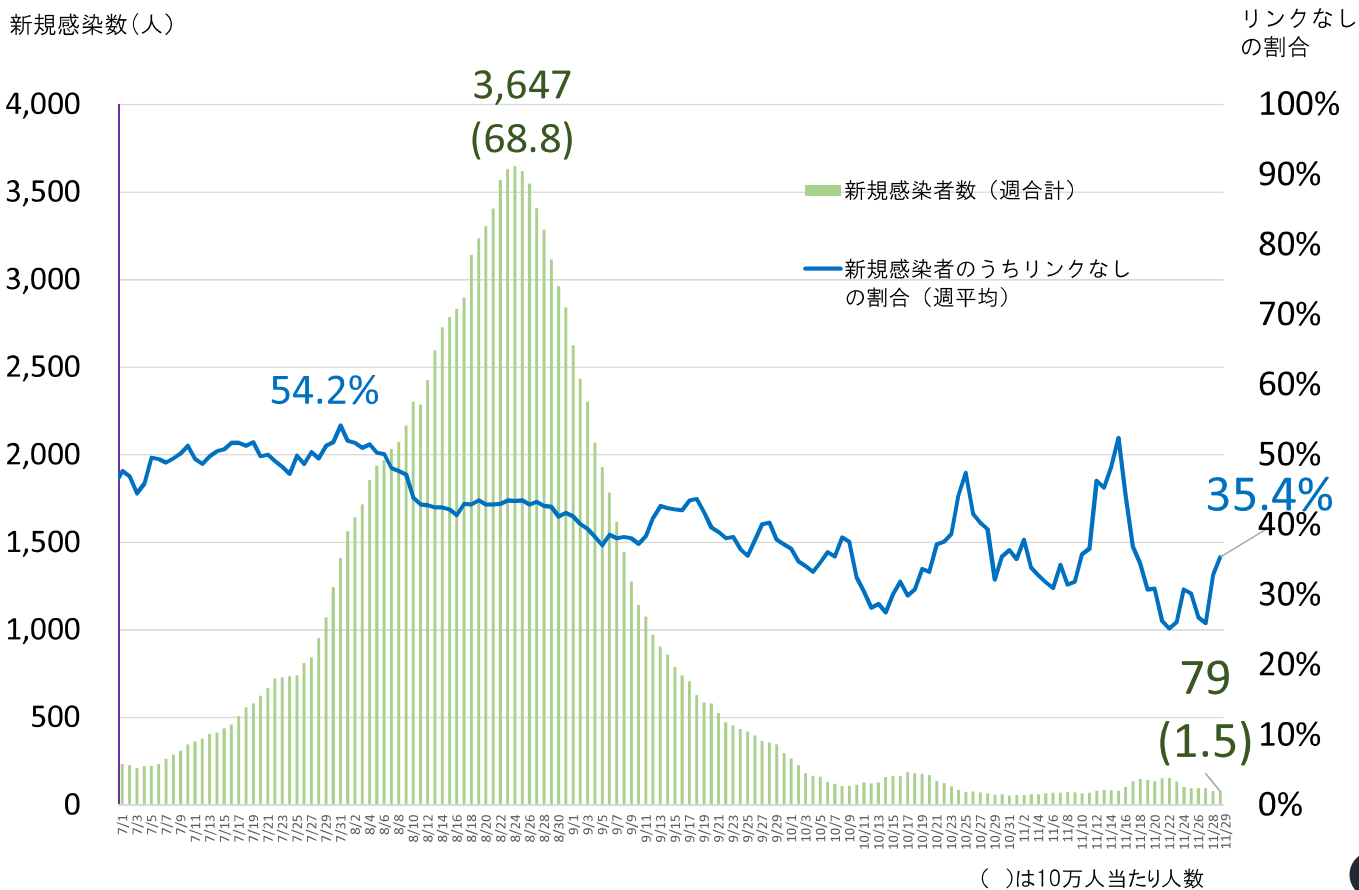
【ワクチン】

○ 道民の79%が1回目接種を終え、76%、400万人を超える方が2回目接種を終えた。

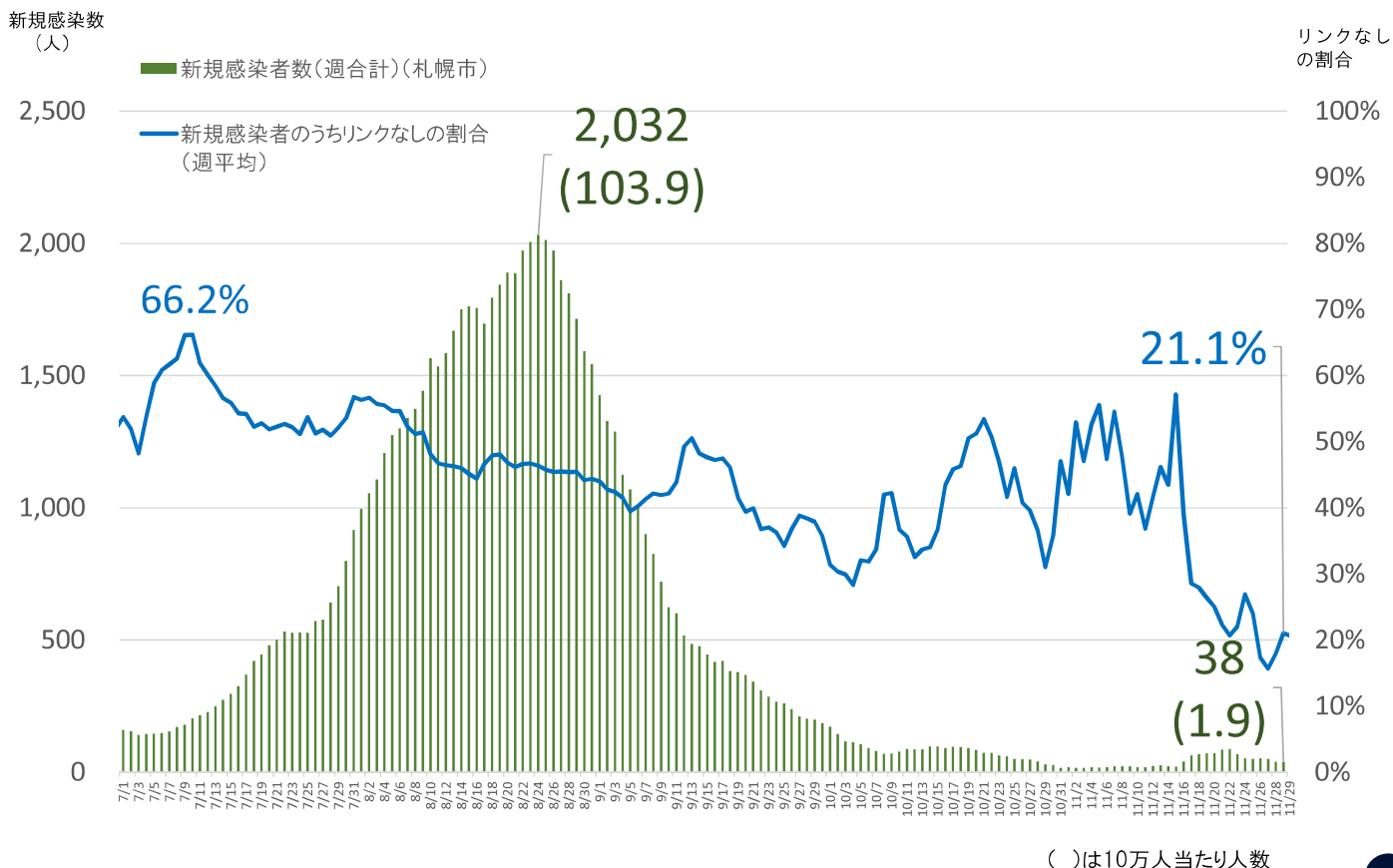
【今後の対策】

- 「オミクロン株」については、国立感染研が「懸念すべき変異株」に指定し、国は、全世界からの外国人の入国を原則停止することを決定。道としても、情報収集を進め、ゲノム解析などにより、変異株の早期探知・早期介入に向けた体制を整える。
- 年末年始の忘年会等の行事により、普段会わない方と会う機会等も増えることから、いつもと体調が違ふと感じたときには、外出等を控え、積極的な診療・検査を受けるなど、感染防止行動の実践を呼びかける。
- 今般、「保健・医療提供体制確保計画」を策定したが、医療機関別の確保病床数等の公表方針などが国から示されたことから、医療機関と再度、調整した上で、確保病床数を速やかに確定する。
- 新たなレベル分類の導入の検討を進めるとともに、第三者認証制度の普及促進やワクチン・検査パッケージ制度の円滑な運用等に向け、取組を進める。
- 3回目接種は、2回目接種から原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に、来月から順次開始される。円滑なワクチン供給など、市町村への支援等に取り組む。

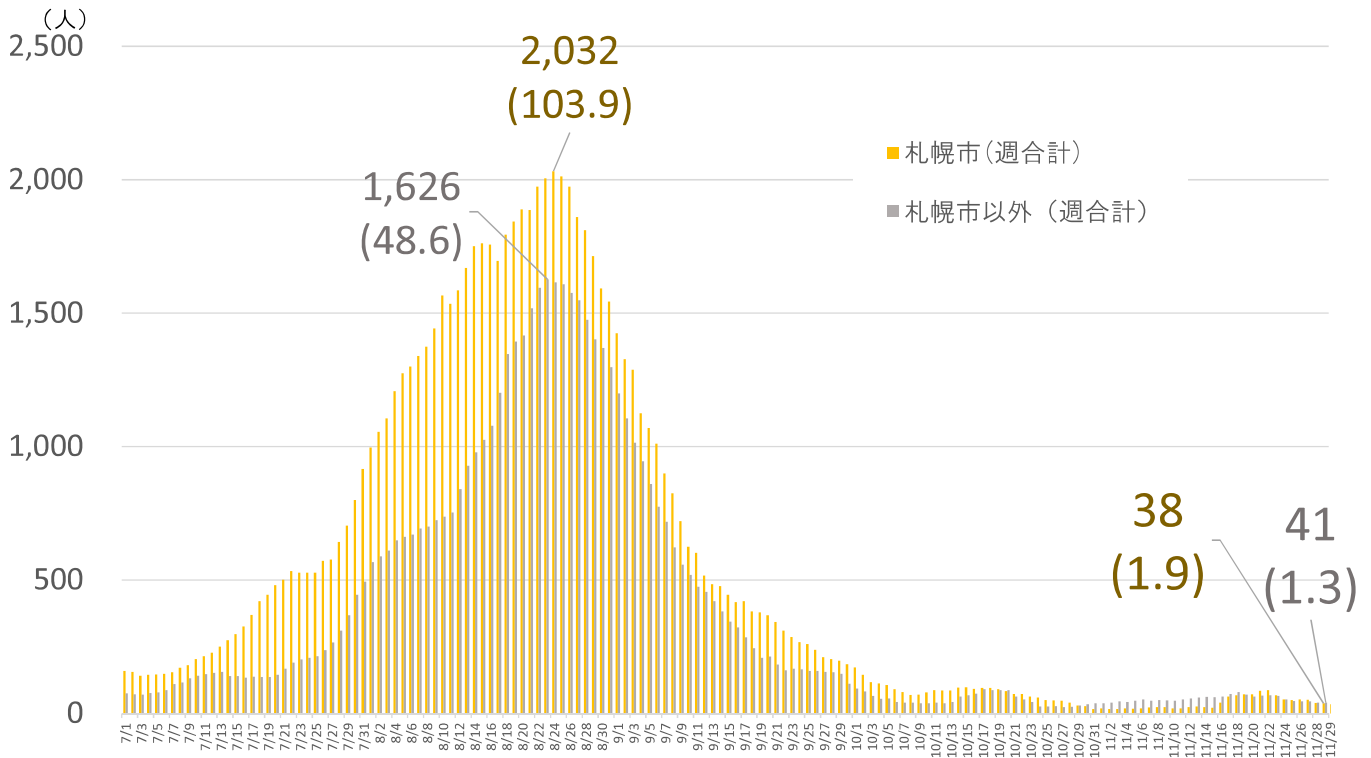
感染状況(新規感染者数と感染経路不明割合)(全道)



札幌市の感染状況



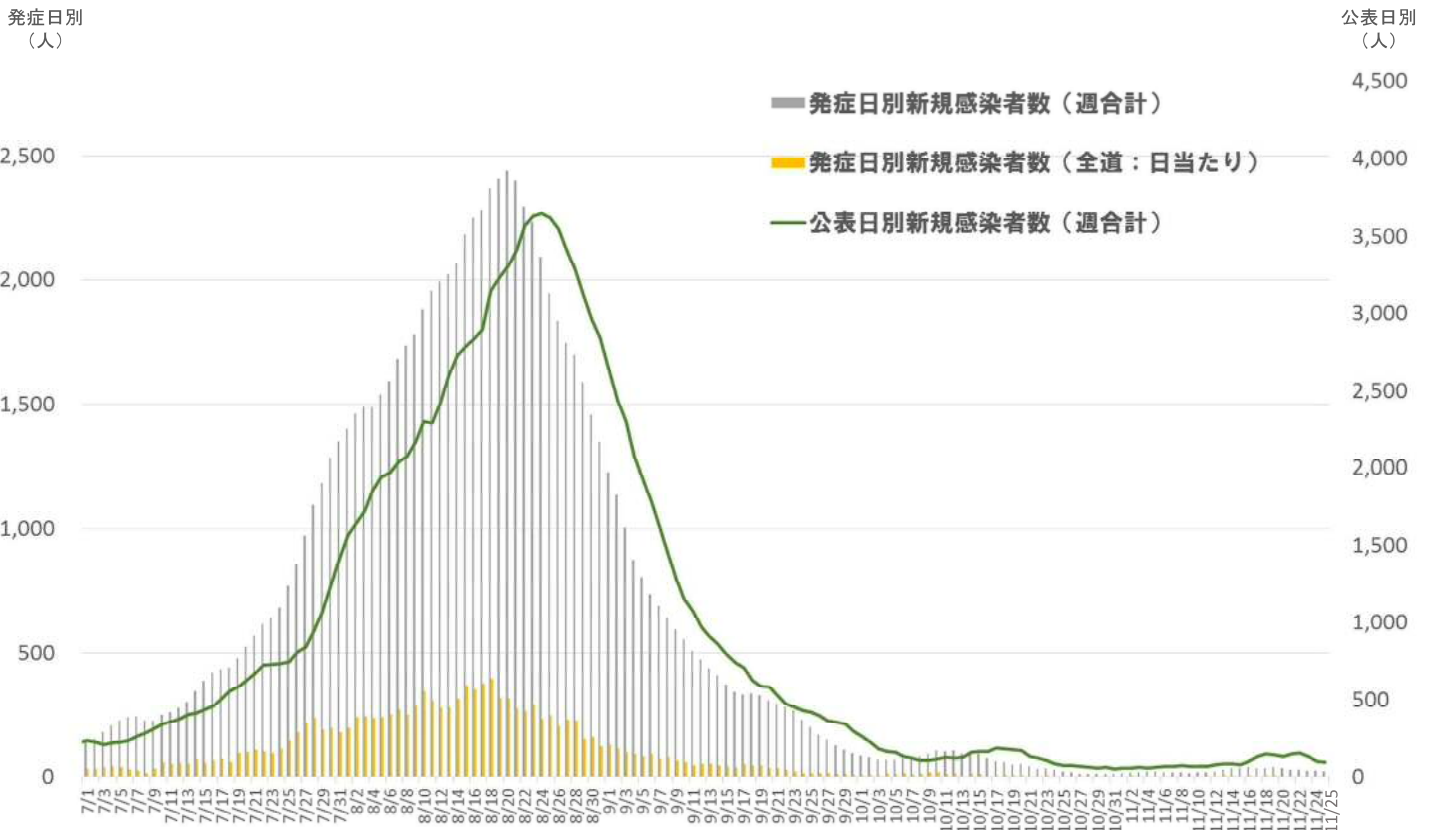
新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人当たり人数

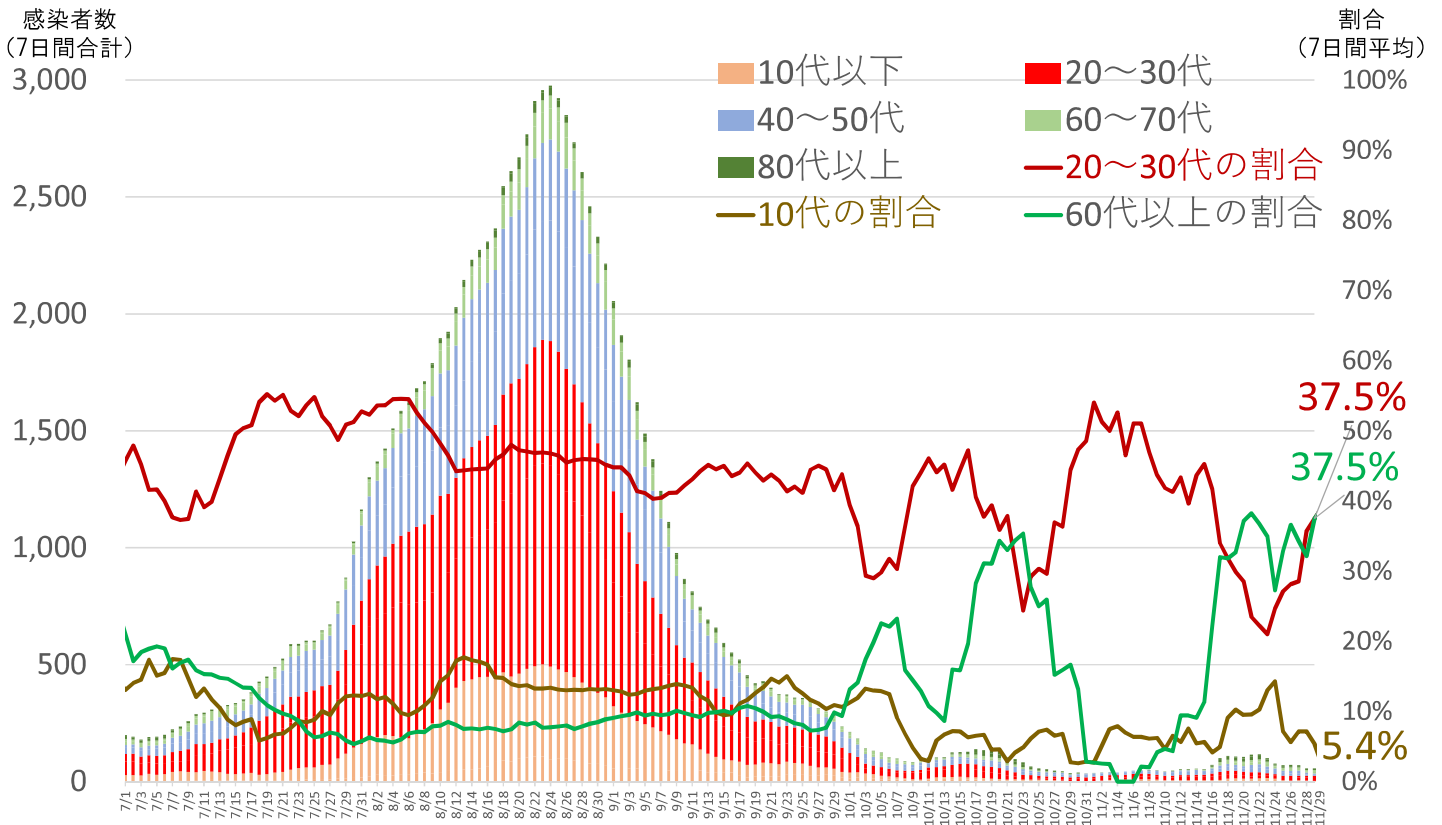
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



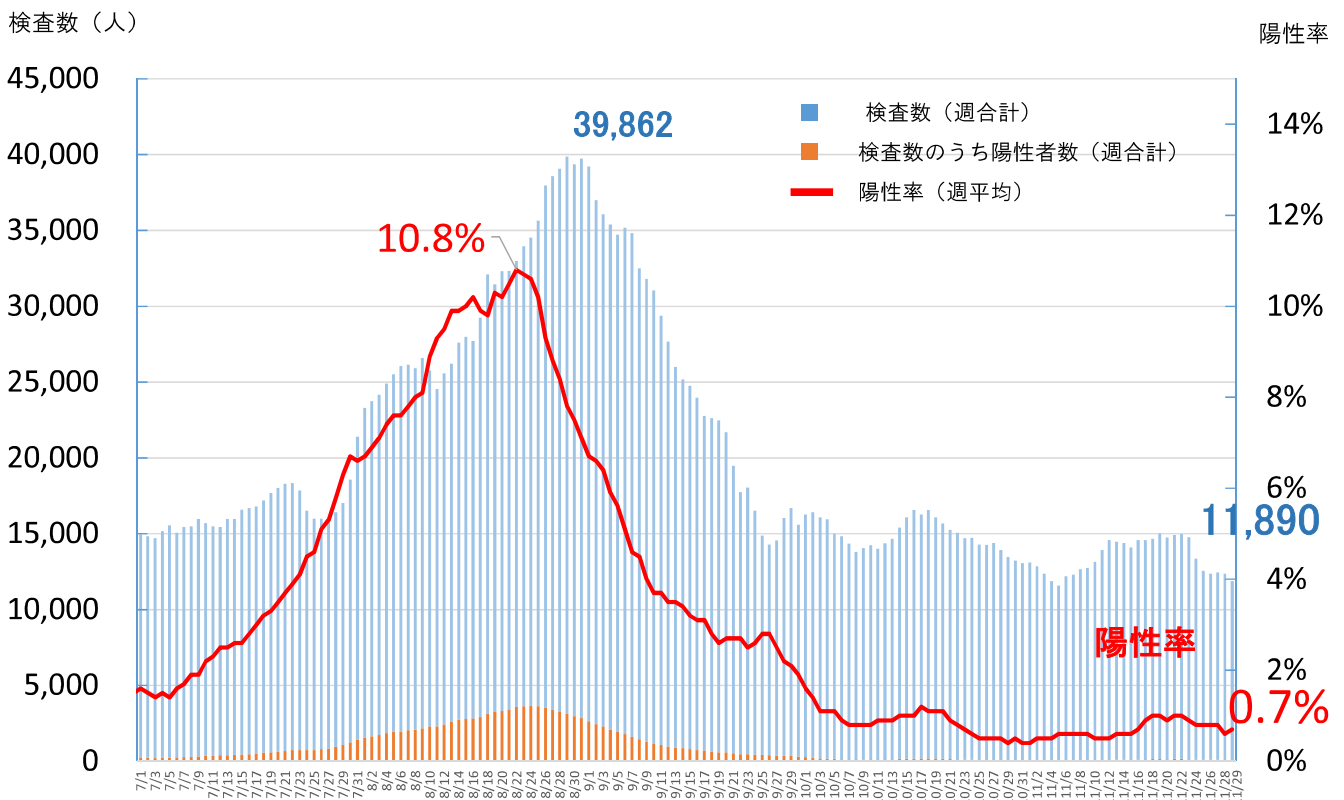
※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
 ※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)

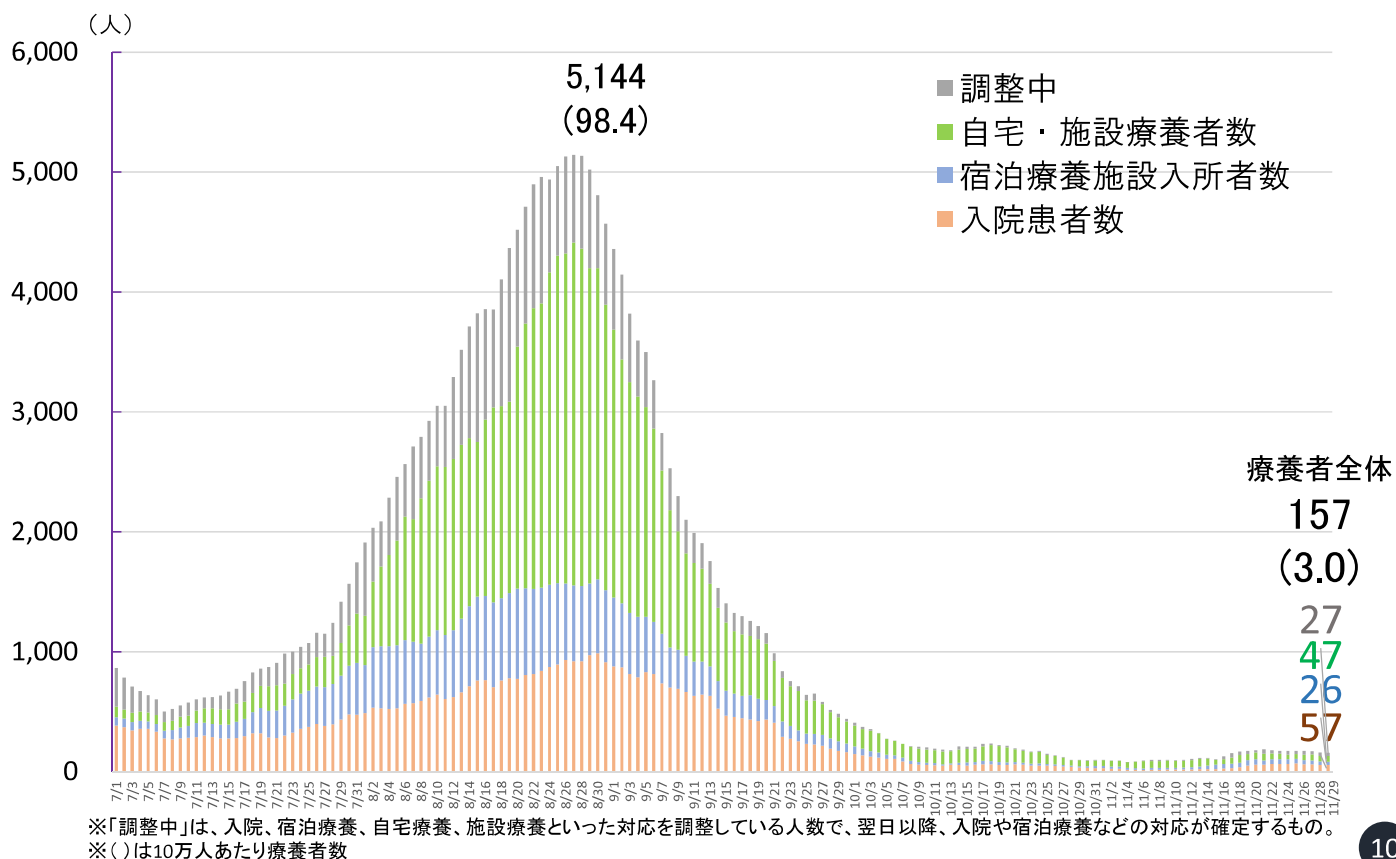


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

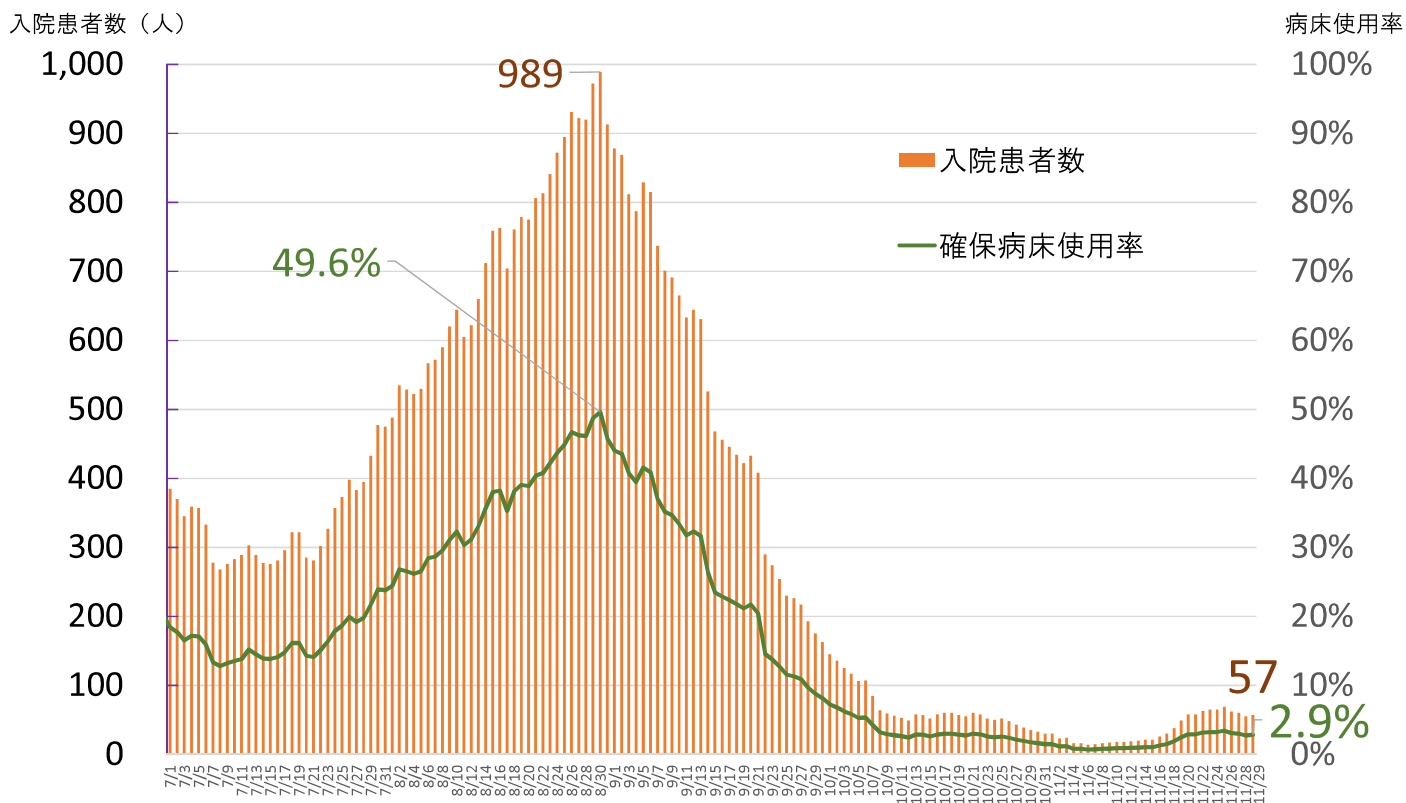
感染状況(陽性率と検査数)(全道)



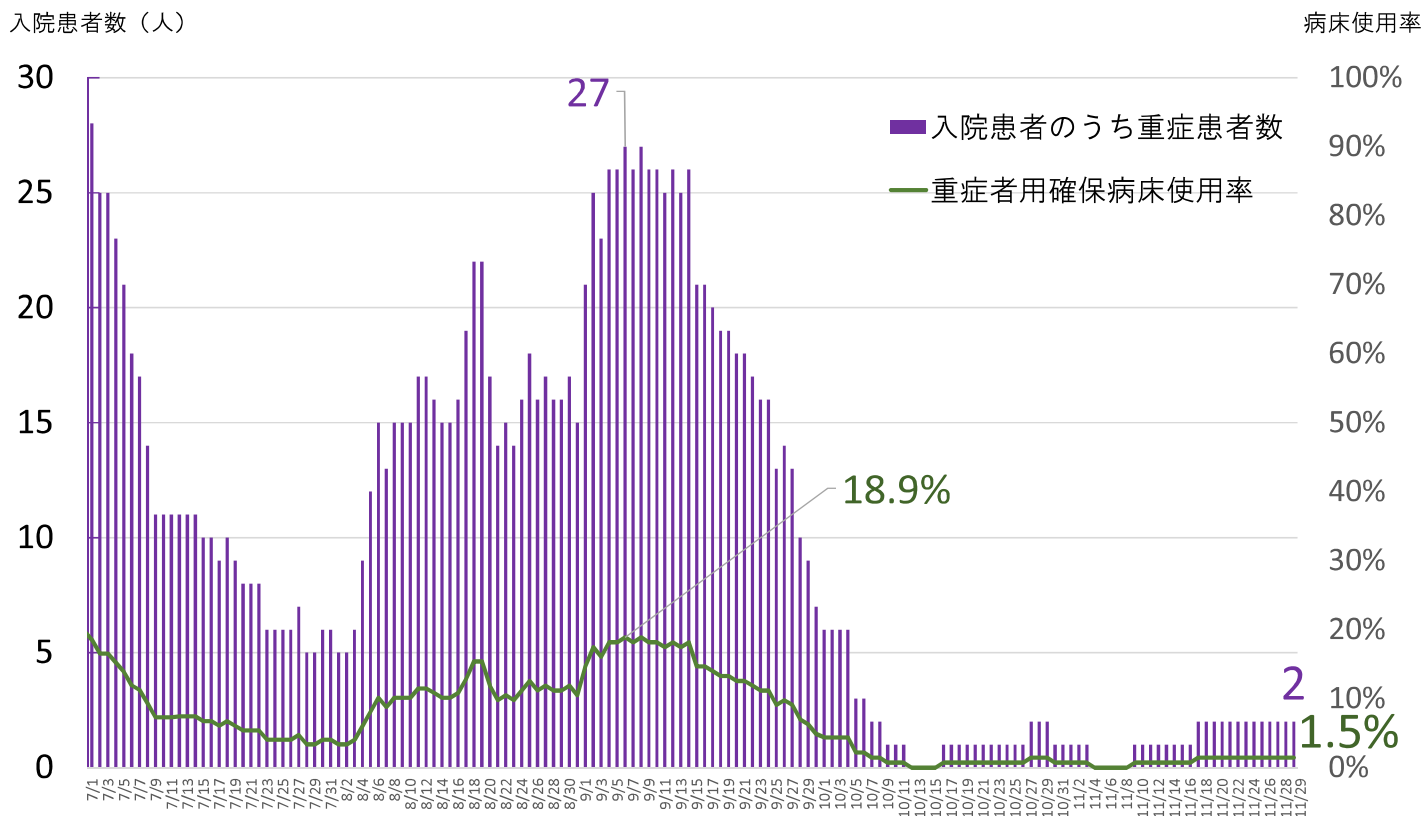
医療提供体制等の負荷(療養者全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



12

集団感染の発生状況(全道)

	7月	8月	9月	10月	11月 (11/1~29)
医療施設 福祉施設	5件 (55人)	29件 (337人)	15件 (125人)	3件 (91人)	2件 (75人)
事業所等	18件 (142人)	52件 (535人)	26件 (202人)	3件 (28人)	—
飲食店等	11件 (80人)	31件 (274人)	5件 (34人)	4件 (46人)	3件 (21人)
学校	9件 (147人)	20件 (415人)	16件 (121人)	—	1件 (9人)
合計	43件 (424人)	132件 (1561人)	62件 (482人)	10件 (165人)	6件 (105人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

13

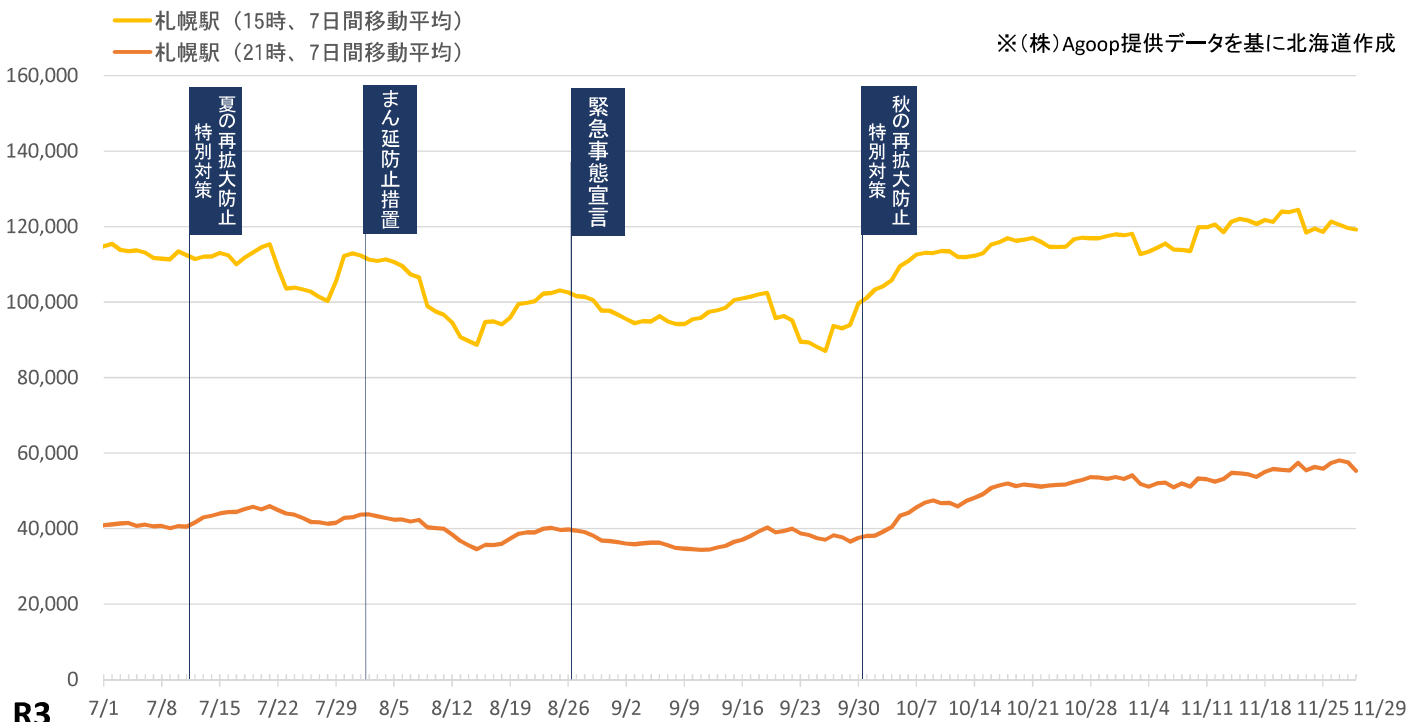
集団感染の発生状況(札幌市／札幌市以外)

	11/9～15		11/16～22		11/23～29	
	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外
医療施設 福祉施設	—	1件 (9人)	1件 (66人)	—	—	—
事業所等	—	—	—	—	—	—
飲食店等	—	1件 (6人)	—	—	—	—
学校	—	—	—	1件 (9人)	—	—
合計	—	2件 (15人)	1件 (66人)	1件 (9人)	—	—

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

14

札幌市の人出(札幌駅周辺)



R3 7/1 7/8 7/15 7/22 7/29 8/5 8/12 8/19 8/26 9/2 9/9 9/16 9/23 9/30 10/7 10/14 10/21 10/28 11/4 11/11 11/18 11/25 11/29

	R3.9.30	R3.11.29 (9/30比)
15時	99,674	119,604 (+20.0%)
21時	37,502	56,569 (+50.8%)

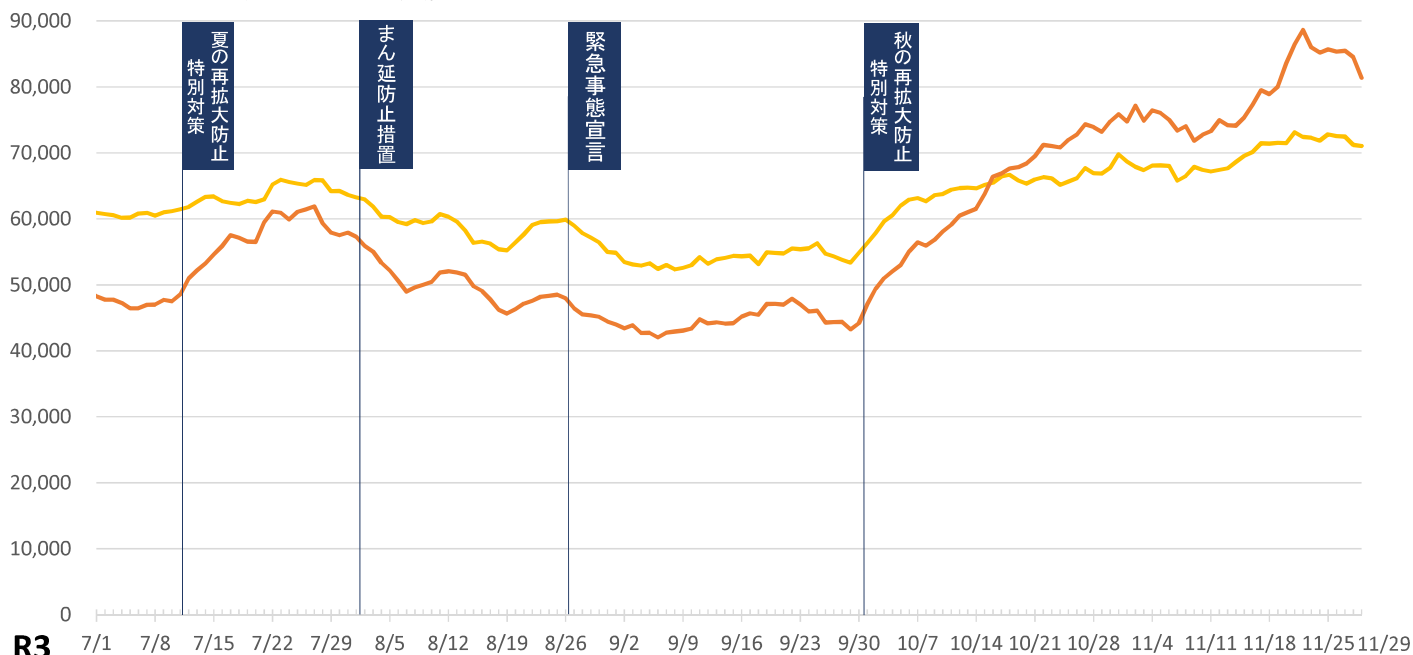
	R3.10.14	R3.11.29 (10/14比)
15時	112,252	119,604 (+6.5%)
21時	48,128	56,569 (+17.5%)

15

札幌市の人出(すすきの駅周辺)

—すすきの駅 (15時、7日間移動平均)
—すすきの駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



	R3.9.30	R3.11.29	(9/30比)
15時	54,847	72,036	(+31.3%)
21時	44,192	84,799	(+91.9%)

	R3.10.14	R3.11.29	(10/14比)
15時	64,622	72,036	(+11.5%)
21時	61,514	84,799	(+37.9%)

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。11/28現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,127,210	78.9%	4,003,938	76.6%
(参考) 全国	99,206,063	78.3%	96,883,143	76.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。
なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合は接種率は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/28現在)

区分	道内の接種対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率		(参考) 全国の接種率 (11/28現在)	
		1回目	2回目	1回目	2回目
12～19歳	344,205 (6.6%)	71.6%	64.9%	74.3%	70.6%
20～29歳	461,395 (8.8%)	74.7%	71.5%	75.3%	72.9%
30～39歳	545,877 (10.4%)	77.0%	74.5%	77.1%	75.2%
40～49歳	733,566 (14.0%)	82.1%	80.4%	82.1%	80.7%
50～59歳	697,270 (13.3%)	88.4%	87.1%	89.2%	88.1%
60～64歳	338,612 (6.5%)	90.0%	89.1%	89.8%	89.1%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	93.5%	92.9%	93.3%	92.8%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

18

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/28現在)

人口区分(市町村別)	市町村数	人口(人)	接種率(全年代)	
			1回目	2回目
100万人以上	1	1,961,575	76.8%	73.9%
20万人以上	2	583,288	78.5%	75.6%
10万人以上	6	849,242	79.2%	76.7%
3万人以上	13	722,259	79.3%	77.4%
1万人以上	33	578,442	81.8%	80.3%
5千人以上	39	272,482	83.0%	81.6%
3千人以上	41	165,341	83.5%	82.3%
3千人未満	44	96,103	84.5%	83.4%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

19

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について①

- 追加(3回目)接種については、明日12月1日(水)から順次開始。12月に接種対象となる方(今年4月までに接種を終えた、約5万4千人)から接種が受けられる。道としても、円滑な実施に向け、市町村と連携し取り組む。

区分	内容
目的	新型コロナワクチンを接種したすべての者において感染予防効果が経時的に低下すること、また、高齢者においては重症化予防効果についても経時的に低下する可能性を示唆する報告があること等を踏まえ、感染拡大防止及び重症化予防の観点から実施。 ※1回目・2回目接種が完了していない方への接種機会も継続して提供。
対象者	18歳以上の2回目接種完了者 ※重症化リスクの高い方、職業上の理由等によりウイルス曝露リスクの高い方などについては特に推奨。
使用するワクチン	1回目・2回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを使用 ※当面は薬事承認されているファイザー社製ワクチンを使用。モデルナ社製ワクチンの使用は、薬事審査の結果を待ってあらためて議論。
2回目接種完了からの接種間隔	2回目接種完了から原則 8か月以上 ※地域の感染状況、クラスターの発生状況など非常に特殊な状況の場合には、事前に厚労省と相談した上で、6か月以上で接種した場合も予防接種法に基づく接種の扱いは変えない。
実施期間	R3.12.1～R4.9.30
接種券	原則接種券の持参が必要であるが、勤務先の医療機関等での接種日までに接種券が届かなかった場合などには、例外的に接種券なしでの接種が可能。
その他	職域接種については、1・2回目を実施した企業・大学等のうち、実施を希望する場合には、R4年3月から追加接種を開始予定。12/13(月)から実施申込受付開始。

20

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について②

【2回目接種完了からの接種間隔について】

- 11/26付け国事務連絡により、2回目接種完了からの接種間隔について、感染拡大防止を図る観点から、初回接種完了から8か月以上の間隔をおかずに実施して差し支えない場合が整理。

区分	内容
対象	対象機関 医療機関等(医療機関、高齢者施設等)においてクラスターが発生した場合の、当該医療機関等 同一の保健所管内の複数の医療機関等でクラスターが発生した場合の、当該医療機関等の所在する保健所管内の医療機関等
	対象範囲 入院患者、入所施設利用者、通所施設利用者及び当該医療機関等で業務に従事する者であって、感染拡大防止を図る観点から必要な範囲のもの
留意事項	接種計画 市町村が、①上記の対象に該当する根拠、②対象者の範囲、③対象者の見込み人数の情報を含む接種計画を策定し、事前に都道府県を通じて厚生労働省と相談
	ワクチン 既に配分されたワクチンを使用(接種時期の前倒しによる追加配分はされない)
	接種間隔 2回目接種完了から6か月以上

- 国では、今後の感染拡大に備え、「感染防止の観点から8か月を待たずして打つ範囲については、さらに検討」を行うとし、上記基準を見直す可能性に言及しており、引き続き情報収集等に努める。

21

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 追加(3回目)接種に係るワクチンの供給状況等(単位:回)

[接種実績の数値はR3.11.4現在]

- ファイザー社製ワクチン3回目第2クルの道内市町村への配分(449箱、約53万回分)を11/29に決定。接種対象者数に応じ按分。
- 1月以降の配分については、モデルナ社製ワクチンの薬事承認の状況、ファイザー社製ワクチンの在庫状況等も踏まえ、今後別途整理。
- 接種間隔を8か月で進めた場合、R3年度内(~R4年3月)の対象者分のワクチンは、2月までの配分総数で確保されている。
- なお、4月以降の供給量は示されていないが、現時点においても、モデルナ社製ワクチンの供給量は、初回(1・2回目)接種で同社製ワクチンを接種した人数を既に上回っていることから、交互接種の実施を前提とした配分を行う必要がある。

	追加接種予定月 (2回目接種完了月)	R3.12月 (R3.3~4月)	R4.1月 (R3.5月)	R4.2月 (R3.6月)	R4.3月 (R3.7月)	R4.4月 (R3.8月)	R4.5月 (R3.9月)	R4.6月 (R3.10月)	合計
道内2回目接種実績	ファイザー	54,249	93,831	619,543	868,141	521,271	497,281	362,341	3,016,657
	モデルナ	0	0	111	39,883	214,274	175,553	232,111	661,932
	アストラゼネカ	0	0	0	0	0	8	11	19
	合計	54,249	93,831	619,654	908,024	735,545	672,842	594,463	3,678,608
	累計	54,249	148,080	767,734	1,675,758	2,411,303	3,084,145	3,678,608	3,678,608
ワクチン配分	ファイザー	①133,380 ②525,330	①は11月 配送済	③332,280					990,990
	モデルナ	②今回配分 を決定	①718,800						718,800
	合計	658,710	718,800	332,280					1,709,790
	累計	658,710	1,377,510	1,709,790					1,709,790
	4月以降に用いるワクチンの配分スケジュール・供給量については、現時点で国から示されておらず、不明。								

22

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

6 その他一般接種等について

- 追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、来年9月30日まで初回(1・2回目)接種が引き続き可能。
今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。
- アストラゼネカ社製ワクチンについて、9月11日から道内における接種を開始し、これまでの接種実績は計772回。
- 一般向け接種の進展に伴い、特に若年層のワクチン接種率の向上に資するよう、チラシの作成・配布、WEB広告など、ワクチンへの正しい理解の促進や非接種者への差別防止等に関する広報・周知等を実施。
併せて、ワクチン2回接種後であっても、引き続き基本的な感染防止行動の実践が必要である点についての普及啓発を実施。
- インフルエンザワクチンの接種も本格化している中、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンの同時接種はできないこと、他のワクチンと互いに2週間の間隔を取っていただく必要があること等について、道のホームページ、SNSで注意喚起を実施。

<参考>北海道新型コロナワクチン情報twitter
<https://mobile.twitter.com/hokkaidovaccine>



23

年末年始における 感染拡大防止に向けて (案)

忘年会やクリスマス、お正月、新年会、成人式等の行事により、普段会わない方と会う機会も増え、屋内における活動も活発となります。感染拡大を回避するために、基本的な感染防止行動を実践しましょう。



令和3年11月30日

北海道

道民及び
道内に滞在
している皆様

◆「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止行動を実践しましょう。

特に、「換気」など屋内での感染防止行動を実践しましょう。



特に帰省・
旅行の際は

◆いつもと体調が違ったり感じた場合には外出や移動を控え、積極的に診察や検査を受けましょう。

◆混雑している場所はできるだけ避けましょう。

◆普段会わない方と会う際は、より一層感染防止行動を実践しましょう。



特に飲食
の際は

◆忘年会、新年会などの際は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用するなど、感染リスクを回避しましょう。

特に、大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層注意しましょう。



事業者
の皆様

◆業種別ガイドラインを確認し、感染防止に取り組みましょう。(特措法第24条第9項)

職場においては、特に「休憩室」、「喫煙室」等における感染防止に取り組みましょう。

◆飲食店等においては、感染防止の取組をアピールできる北海道飲食店感染防止対策認証制度の認証を取得しましょう。



学校

◆学校では、衛生管理マニュアルに基づき、全ての教育活動において、感染防止に取り組みましょう。



イベントの開催

- 人数上限※1
5,000人 又は 収容定員50%以内のいずれか大きい方
- 収容率※1
[100%以内] 大声なし (席がない場合は適切な間隔)
[50%以内] 大声あり※2 (席がない場合は十分な間隔)

〈感染防止安全計画を策定する場合※3〉

- 人数上限
収容定員まで
- 収容率
100%以内

※イベントの開催制限に係る詳しい内容については、道ホームページをご覧ください(緊急事態措置やまん延防止等重点措置等を実施する旨の公示がされた場合、感染状況等に応じて措置内容を別途、決定します)

- ※1 人数上限と収容率でどちらか小さい方を限度とする(両方の条件を満たす必要)
- ※2 大声とは、「観客等が通常よりも大きな声量で反復・継続的に声を発すること」で、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが大声ありに該当する
- ※3 感染防止安全計画では、イベント開催時の必要な感染防止策を着実に実行するため、イベントごとに具体的な感染防止策の内容を記載する
(参加人数が5,000人超であって収容率50%超のイベントを対象とし、イベント開催の2週間前までの提出)

●イベントの開催に当たっては、業種別ガイドラインを遵守するとともに、国の接触確認アプリ(COCoA)の導入や名簿の作成などを徹底しましょう。

2

道は市町村や関係団体等と連携して、感染拡大防止に向けて取組を進めます

感染拡大防止に向けた取組

- (1) 予兆の早期探知と対応
 - 誰から感染したかを把握するための「さかのぼり調査」の徹底
 - 集団感染への迅速な対応
(現地対策本部の迅速な設置、広域支援チームの迅速な編成等)
- (2) 感染防止意識の醸成を図る普及啓発
 - 屋内活動や会食機会の増加を見据え、基本的な感染防止行動の普及啓発
 - 忘年会、クリスマス、お正月、新年会、成人式など、季節的な行事に当たっての普及啓発
 - 漫画やイラストの活用など、若者に向けた普及啓発
 - 地域の感染状況に応じた振興局毎の普及啓発

新たな変異株への対応

- オミクロン株の早期探知・早期介入に向けた監視体制の強化

医療提供体制の確保

- 感染拡大に備えるための「保健・医療提供体制確保計画」を踏まえた医療提供体制の着実な整備・確保

ワクチン接種の促進

- ワクチンの効果や接種後の感染防止に関する普及啓発
- 3回目の接種に向けた市町村への支援
- 1・2回目未接種の方に向けた普及啓発

日常生活の回復に向けた取組

- 北海道飲食店感染防止対策認証制度の普及促進
- ワクチン・検査パッケージ制度の着実な運用

3

「年末年始における感染拡大防止に向けて（道案）」等に対する主な意見

有識者・専門家の意見

- 1 道案に異論なし。
オミクロン株の発生など予期せぬ事態にも臨機応変に対応願う。
- 2 道案に異論なし。
感染拡大防止対策に関して、飲食の際の会話時のマスク着用は、ほとんど意識・実践されていないように見受けられる。この点について、なにかよい工夫や呼びかけが必要と考えており、引き続き検討をお願いしたい。
- 3 道案に対し特に意見なし。
若い方達に情報を届ける手段として、漫画やイラストの活用を挙げているが、どの媒体を使うかがとても大きいと考える。人々の目に留まりやすい場所での情報発信や、道内で多くの若者がフォローするようなインフルエンサーなどの協力を得ていくことが重要と考える。
- 4 道案に異論なし。
3回目のワクチン接種ができるだけ早く行われればと思っている。

宗谷管内における感染状況と地域の取組

資料5

最近の感染状況

●新規感染者数

・ 4人(直近1ヶ月) ・ 130人(4月以降)

●検査数

・ 23人(直近1ヶ月) ・ 2,973人(4月以降)

〈R3.11.29時点〉

最近の取組

○「冬の感染拡大防止に向けて」に係る取組

- ・ WEB会議により、市町村長に今後の対策を情報共有・協議
- ・ 保健所長名で住民等に感染防止に向けた行動への協力等呼びかけ

○第三者認証制度の普及に係る取組

- ・ 市町村、商工団体及び稚内市料理飲食店組合に対して、WEB会議や訪問により認証取得を働きかけ
- ・ 委託事業者と振興局や市町村、商工団体などによる認証に係る合同調査の実施

○保健所と市町村の保健福祉部局との対策会議の実施

○12歳到達者のワクチン接種に係る供給調整等を実施

- ・ 稚内市の協力の下、管内町村の必要ワクチンを供給調整

これまでの主な取組

市町村等との連携

- 管内市町村長との連名によるメッセージの発出(13回)
- 市町村長とのWEB会議(5回)
- 市町村担当者等との会議・研修会(3回)
- 稚内市長と住民向けの街頭啓発(1回)
- 関係団体※と空港や港での観光客向けの啓発(常時)

※稚内市、礼文町、利尻町、利尻富士町、稚内商工会議所、稚内建設協会、(一社)稚内観光協会、宗谷観光連盟

- 離島等へのリエゾン【幹部職員】派遣(6回)

報道機関との連携

- マスメディアの協力による啓発
 - ・ 地元紙や地域面への掲載(48回)
 - ・ 地域FM番組(9回)
 - ・ 報道向け会見(6回)

患者搬送等における連携

- 離島からの患者搬送
 - ・ 海上保安庁、自衛隊、道漁業取締船「北王丸」
- 職員(振興局全体)による管外への患者搬送等

その他の取組

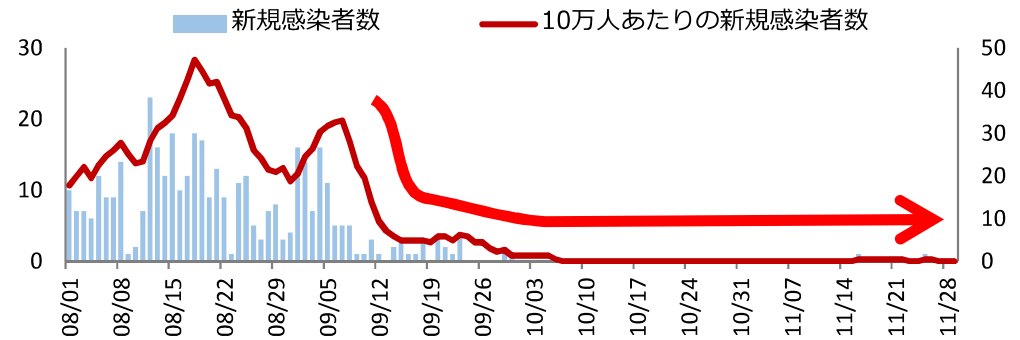
- 市町村の独自での対策会議(10市町村 計122回)・啓発
- 要請に応じていただいている飲食店を職員が応援(テイクアウト1,002食)
- 若手職員による若者向けワクチン接種の啓発
- 大規模商業施設や関連業界に対して、感染対策やガイドラインの遵守を要請

釧路管内における感染拡大防止の取組

資料6

1. 感染状況

- 釧路管内の新規感染者は、10月1日以降、**ほとんど出ていない状況**
 (9月：108人、10月：**0**人、11月：**2**人)



2. 感染拡大防止の取組

広報啓発	住民等向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 忘年会やクリスマスなど会食機会の増加を見据えたポスター掲示及びチラシ配付による注意喚起 (公共施設・大型商業施設・公共交通施設 など) 		▲住民等向けポスター
	飲食店向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道飲食店感染防止対策認証の取得促進に向けた管内飲食店への制度案内の直接送付 (2,269店舗) ● 報道機関への現地調査の公開による取組の可視化 ● 振興局長による管内の全商工会会長及び商工会議所会頭への認証取得への協力依頼 など 		▲現地調査の取組の可視化
ワクチン接種		<ul style="list-style-type: none"> ● 管内の大学や専門学校等の高等教育機関と連携した学生へのワクチン接種の啓発 (7校) ● 医療従事者等の3回目接種が円滑に進むよう住所地外接種に関する広域調整を保健所において実施 		